

練馬区子ども読書活動推進会議(第11期第六回)要録

日時：令和5年7月24日（月） 午後1時30分から午後3時30分まで

場所：練馬区役所本庁舎 1905会議室

●参加者

○委員（敬称略）

林、木村、工藤、坪倉、池田、慶野、乾、内田、及川、中村

○傍聴人 0名

○事務局

山崎光が丘図書館長、松田子供事業統括係長、同係 和田、根本、吉住
教育指導課 サポート人材推進係 小熊、田口指導主事

●議事等

1 開会

2 議題

(1) 第四次練馬区子ども読書活動推進計画4年度各所管取組状況について

(2) 練馬区子ども読書活動推進計画 計画指標の達成状況について

(3) 提言書の方向性について

(4) その他

3 閉会

次回開催日：令和5年11月頃

【配付資料】

資料1 令和4年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」取組実施状況調査

資料2 「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」計画指標の達成状況

資料3 提言書の方向性

●会議要録

○事務局

定刻となりましたので、第11期第六回練馬区子ども読書活動推進会議を開催させていただきます。

それでは座長、会議の進行をお願いいたします。

○座長

本日はご多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。

ただいまより、第11期第六回練馬区子ども読書活動推進会議を開催いたします。

なお、今回をもちまして、第11期の会議は終了しますので、今回の会議の最後に、委員の皆様からそれぞれご挨拶をいただければと存じます。

それでは、次第2議題(1)第四次練馬区子ども読書活動推進計画4年度各所管取組状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

○座長

事務局から説明がありましたが、議題(1)「第四次練馬区子ども読書活動推進計画4年度各所管取組状況について」、皆様のご質問等があればお聞かせいただければと思います。

ご質問などございましたら、ご発言をお願いします。

○副座長

地区区民館の本の選書や整理は、どなたがされているのですか。

○事務局

選書にはボランティアも携わる区民館もあると思いますが、基本は職員が選書・整理を行っているかと思えます。

○委員

各所管の取組状況でコロナ前の数字には戻り切っていませんが、どのようなことが原因だと分析されていますか。資料2では、区民にイベント参加への不安感が依然残っていると推測されていますが、コロナ前後で比較して図書館で行っているイベント等を知る機会が若干減っているのではないかと考えます。

○事務局

調査時は5類に下がっていませんでしたので、不安感があるのではないかと分析しました。

イベントへの参加は各家庭により考え方が異なると思います。2年もステイホームをしていたので、自然と家にいることが習慣化されていったと考えます。

これらの問題についても、今後、何か対策をしていけたらと思います。

○委員

大型絵本で月に1,2回よみきかせのボランティアをしています。大型絵本の貸出しの手続きが煩雑です。貸出し手続きを簡略化していただきたいです。

○事務局

検討させていただきます。大型絵本の貸出しは事業用で行っており、普通の絵本の貸出しとは目的が異なります。そのため、貸出し手続き時に詳細をお聞きしています。

○委員

団体貸出しについても代表以外の者が借りた際、代表に連絡がきてしまいます。借りた者に連絡がいくようにすることはできないのでしょうか。

○事務局

団体貸出しでは代表の連絡先のみ登録されますので、どうしても代表に連絡がいつてしまう形となります。改善できないか検討します。

○副座長

副座長が話題に挙げられた地区区民館の選書についてです。
図書館から地区区民館へ選書のサポートはされていますか。

○事務局

サポートは行っておりませんが、よんでみようこんなほんを地区区民館にも送付しているため、参考にさせていただいているのではないかと思います。

○事務局

補足します。児童館には児童指導という子どもに関わる一定の勉強をした職員がおります。児童館同士で情報交換や本について調べたり、ボランティアと相談しながら選書を行っているかと理解しています。また、全地区区民館に児童指導がいるわけではありませんが、学童クラブがあると児童指導がいますので、その方たちが選書を行っているかと認識しています。

○座長

続きまして、議題(2)「練馬区子ども読書活動推進計画 計画指標の達成状況について」です。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○座長

事務局より説明がありましたが、議題(2)「練馬区子ども読書活動推進計画 計画指標の達成状況について」、皆様のご意見等お聞かせいただければと思います。

○委員

3点、質問があります。

まず、1点目です。おはなし会の1回あたりの参加人数が減少していることが資料2から分かります。これについては回数を増やすか、1回の参加人数を増やす対策を行う必要があると思いますが、いかがお考えでしょうか。

次に、2点目です。資料2で中学生の読書率が9割を超えていたのが、令和4年度では9割を切っ
てしまっていますが、何が原因だと考えられますか。

最後に、3点目です。資料2には高校年代向けの取組みや企画展示が記載されていますが、区内
の高校に図書館の取組み等を伝えたりされていますか。

以上3点について、よろしく願いいたします。

○事務局

ありがとうございます。

まず、1点目についてお答えします。おはなし会はボランティアや指定管理館と行っております
ので、容易に回数を増やすことは厳しいかと思えます。これについては、各館で検討いたします。

次に、2点目についてです。現在では、タブレットやスマホ等で楽しめる様々なコンテンツがあ
りますので、なかなか家で読書をする中学生は少なくなっています。中学生の読書率についても、
次の計画に盛り込みたいと考えております。

最後に、3点目についてです。高校に学校訪問をしたいと考えていますが、なかなか受入れてい
ただくのが厳しい状況です。ですが、今後も各館から近隣の高校に学校訪問の受入れについて働き
かけていきたいと思えます。

○委員

読書率は、どのような調べ方をされたのでしょうか。

○事務局

数値には読み終えた本だけでなく、読みかけも含まれておりますが、雑誌や辞書は含まれており
ません。

○副座長

資料2にラリーの実施校数があり、令和4年度は32校でしたが、学級数で見るとコロナ前に匹
敵する数値となりますのでお伝えします。

また、質問になりますが、区立図書館のおはなし会の回数は乳幼児向けのみでしょうか。

○事務局

乳幼児向けだけでなく大きい子向けも含め、全て含まれています。

○副座長

読書率には、子どもたちが図書館で本を借りて読むケースは含まれていますか。

○事務局

図書館で借りた本、書店で購入した本も含まれています。

○事務局

追加でご説明しますと、不登校の子どもたちの回答は読書率に含まれておりません。

また、資料1の7ページに小中学校の朝読書率が記載されており、朝読書をしている以上、恐らく読書はしているはずですが、しかし、なぜか回答に反映されておらず、恐らく子どもたちの回答の仕方によるのではないかと想像されます。

○委員

最近、朝読書の時間がタイピングの時間に変更された小学校があります。

○委員

その他にも、漢字の学習時間に数年前から変更した小学校もあります。

○委員

朝読書の時間を無くして、プログラミングの時間に変更している学校もあります。

朝読書の時間でしか本を読まない子が、その時間が無くなってしまったことにより、不読書率が上がっているのではないかと思います。

○委員

図書館で貸出し状況を確認していますが、「科学漫画サバイバルシリーズ（朝日新聞出版）」（以下「サバイバル」）の貸出しが多い印象です。学校であっても図書館に置かれる本が変わってきていて、その中でサバイバルが子どもたちの間で人気になっており、数値だけだと分からない部分があるなと思いました。

○委員

学校では、朝読書の時間を週1回でとるようにしていますが、これまでと比較し若干、減少しつつあります。また、娘もサバイバルが読みたいと言っており、子どもたちの間で流行しているのを感じます。これまで本を読まなかった子どもにとっても、読書への入口になるのではないかと思います。

○座長

読書率の算出についてですが、学校で行う朝読書と家などで自発的に行う読書と分けて、数値を見てみたいと思いました。

○副座長

図書館開放で活動していると、サバイバルは先生によって、貸し出すかどうか変わってくるなど感じます。私も、サバイバルが読書への入口になるのであれば、良いのではないかと思います。

○副座長

難しい本を先生が紹介すると、その本がよく借りられるようになるため、本を紹介する機会も大切だなと感じます。

○座長

学校の中での取り組みと本の情報提供を行い、子どもたちの本の世界を広げていくという課題の共有と同時に、読書率をめぐる実態について突き詰めていく必要があるとの意見が、委員から上がりました。

○座長

続きまして、議題(3)「提言書の方向性について」です。
事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○座長

事務局より説明がありましたが、議題(3)「提言書の方向性について」皆様のご意見等お聞かせいただければと思います。

○委員

資料3の1ページ、提言書の方向性で、「保護者も同時に楽しめるような工夫」とありますが、「同時に」は削除して「保護者も楽しめるような工夫」という表現にしていかがでしょうか。

○事務局

かしこまりました。「同時に」は削除いたします。

○委員

資料3の2ページに「保護者と子どもが利用しやすい環境の整備とサービスのあり方を検討する必要がある」と記載されていますが、「サービスのあり方」には、先程、話題にあがりまして

「手続きの簡略化」も含まれているのでしょうか。

○事務局

含みます。

○委員

同ページの下から3行目に「そういう子どもたちに」とありますが、「そういう」の表現に少し違和感を感じます。可能であれば、表現を変えてみてはいかがでしょうか。

○事務局

それでは、「そういう子どもたちに」を「本を好きな子どもたちに」という表現に変更いたします。

○委員

同ページの下から2行目の「図書館」は学校図書館と区立図書館の両方を含むという解釈でよろしいでしょうか。

○事務局

はい。両方、含みます。

○委員

資料3の3ページ、提言書の方向性についてですが、対象が明確にされていれば良いかと考えます。具体的には、本を読まない子ども向けの施策や就職活動を控えている青少年向けの施策等のように対象が明確にされていると良いと思います。

○委員

資料3の4ページ、障害のある子どもや乳幼児だけでなく、小学生なども話しながら本を選べるような、様々な形で利用しやすい図書館になれば良いなと思います。

○委員

資料3の4ページに「キャパシティ」とありますが、これは設備の説明になりますので、ハード面だけでなく、障害のある子どもへの対応力も盛り込むと良いかと思えます。

○座長

資料3の6ページにある「日本語が母語でない子どもの読書活動の支援」についてですが、子どもだけでなく保護者についても加えると良いかと思えます。

○事務局

ご意見ありがとうございました。

○座長

続きまして、議題(4) その他 に移ります。
各委員または事務局から何かございますか。

○座長

特にないようなので、それでは、本日の議題は以上となります。なお、本日の会議要録については、事務局が取りまとめ次第、各委員にご確認をいただいたうえで、練馬区ホームページ等で公開いたします。

最後に事務局から連絡事項等、お願いいたします。

○事務局

現在ご参加いただいております第11期練馬区子ども読書活動推進会議は、令和5年10月に委嘱期間を満了いたします。第11期の推進会議の開催は今回で最後となります。子ども読書活動の推進について、委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

つきましては、第11期の最後に、委員の皆様からご挨拶を頂戴できればと存じます。

(委員挨拶)

○座長

子ども読書活動推進会議では、様々な立場から積極的に意見交換がされていて、色々なことを学びました。また、皆さんの「地域・子ども・本」を愛する気持ちに心を動かされました。

これから、提言書の策定に向けご助言などお願いすることになるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。そして、会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。

○事務局

皆様、ありがとうございました。最後に、事務局であります、光が丘図書館長からもご挨拶がございます。

○光が丘図書館長

座長・副座長、そして委員の皆様、第11期にお付き合いいただいたこと心から感謝申し上げます。皆様からいただいた意見を第五次の計画へと繋げていき、行政として子ども読書活動推進を頑張っていきたいと思っております。

どうぞ、皆様もそれぞれの場で、子どもたちの読書活動推進にご尽力いただき、この会議体へもご意見等いただければと思います。ほんとに皆様、ありがとうございました。

○事務局

第12期の区民公募委員の募集については、7月11号の区報に掲載しており、今後、お申し込みされた方の審査が行われ、内定された方にご連絡をする予定です。

第12期の第1回の会議は、令和5年11月に開催する予定です。正式な日程が決まり次第、新委員の方には開催通知を送付させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

○座長

それでは、第11期第六回練馬区子ども読書活動推進会議を終了いたします。ありがとうございました。